

とらのもん

- 新年のご挨拶
- 腰痛には手術が必要なものもあります
- インフルエンザ



コミミズク

基本理念：医学への精進と貢献、病者への献身と奉仕を旨とし
その時代時代になしうる最良の医療を提供すること

公開講座のお知らせ

本院『皮膚にもがんができる』皮膚科部長 大原 國章

日時：1月21日（土） 14:00-15:30

場所：本院 本館3階 講堂

（入場料無料）

※諸般の事情により、変更・延期・中止になる場合がございます。

お電話・ホームページ等で開催の有無をご確認下さい。



明けましておめでとうございます。
本年もよろしく願いいたします。

昨年も虎の門病院にとっては厳しい1年でした。職員は一致協力してこれを乗り越え、苦しみの中から多くのことを学びました。困難な時期にご支援いただいた皆さんには心より感謝申し上げます。

昨年10月末に肺炎治療薬の過剰投与という医療事故が発生しました。患者様ならびにご家族に多大なご迷惑をお掛けしたことを深くお詫びいたします。ご家族に謝罪し、関係部署へ報告し公表いたしました。コンピュータシステムを含めて何重ものチェックがありましたが、残念ながらこの事故を食い止めることが出来ませんでした。調査委員会、医療安全推進委員会を中心に、再発防止に向けて安全管理体制の再強化を図っています。安全確保のためのチェック体制の強化、新しいコンピュータシステムの導入、日常の医療技術の再点検を行うと共に、職員1人1人の安全意識の重要性を再度全職員へ浸透させるよう努力しました。このような事故が二度と生じないよう病院一丸となって取り組みます。

長年の懸案であった新しいコンピュータシステムが1月より導入されます。当初は不慣れなための混乱や時間が掛かるなど、多少のご迷惑を掛けることは避けられないと思いますが、皆様のご理解をお願いいたします。このシステムが軌道に乗れば医療の安全性が増すことは間違いありません。また個人情報保護の観点から、外来では患者名を呼ばずに番号で呼ぶことが推奨されています。番号による呼び出しシステムも同時に稼働しはじめます。当初は混乱を避けるために名前、番号の両方をお呼びしますが、いずれは番号での呼び出しとなりますので、この点もよろしくご理解下さい。

新しいシステムの導入により4月よりクレジットカードでの支払いも可能になりますので、皆さんの利便性が増すと思います。職員のコンピュータ練習用に使われていた講堂が開放されましたので、医学公開講座が1月より再開されます。月刊「とらのもん」にあらかじめ掲載されていますので、またご参加下さい。

医薬分業に向けての院外処方への移行も皆様のご協力で達成できました。それにより薬剤師による入院患者さんへの服薬指導が可能となり、この面でも安全性が高まったと思います。



院外処方への移行完了に伴い薬剤部が地下へ移転し、あたらしいコンピュータシステム導入による支払い方法や支払い場所の変更など、正面玄関付近の配置換えがあります。

移転工事が終わった3月末には、薬剤部の跡で「医療連携部」が本格的な活動を開始します。病診連携、医療相談、検査・服薬相談、苦情受けなど、病院入口に整備すべきであった窓口、機能を充実させることができると思います。

病院の機能分化が国の方針として進められています。虎の門病院は急性期病院としての機能の充実を目指しています。かかりつけ医との連携を強めて急性期病院としての役割を果たしてゆきたいと思います。新たに受診される方は紹介状をお持ちになるようお願い致します。

2004年1月から院内を完全禁煙といたしました。皆様のご協力で大きな混乱もなく達成することができました。玄関から煙の匂いが消え、非喫煙者の皆さんには喜ばれています。また、既に報道などでも取り上げられています。タクシー会社へ申し入れて、本年1月からは病院玄関の待ちタクシーを全て禁煙車のみとすることにしました。最近の裁判でもタクシー内は禁煙とすべしとする判決が出されています。禁煙の輪が広がることを願っています。

本年も職員は心をつにして安全かつ効果的な医療を目指します。皆様のご指導とご支援をよろしく願い申し上げます。

新年のご挨拶

分院長 武藤 良知

明けましておめでとうございます。
今年も宜しく願い申し上げます。

新しい年を迎え、病院のコンピューターシステムも新しくなりました。これに伴って診察券も新しくなり、旧い診察券は使えなくなりました。ご来院から受付・診察までの流れも変わりました。診察・検査・投薬など、今年から患者さんのお名前ではなく、「受付票に書かれた番号」で呼ばせて戴くようになりました。予約の有無にかかわらず、この「受付票に書かれた番号」が、その日の診察が終わるまで必要ですので、なくさずに診察が終わるまで大事にお持ち下さい。判らないことがあったら受付周辺にいる「案内係」にお聞き下さい。

医師はじめ各職場の職員は、昨年12月からリハーサルを繰り返し、年末年始の休みも返上して、早く慣れるように努力して来ましたが、当初は不慣れのため、これまでよりも診察時間・待ち時間が長くなり、ご迷惑をお掛けしているかも知れません。このシステム変更は、医療の安全性の向上、医療の質の管理・向上に役立つと考えられる電子カルテ化の一環として行ったものですので、何卒ご理解の上、よろしくご協力くださいますようお願い申し上げます。

医療安全管理の難しさを痛感させられた残念な医療事故が、昨年虎の門病院で発生しました。ご関係の皆様には深くお詫び申し上げます。

「医療費抑制」の中で医療の質・安全の確保を求められているという厳しい医療環境ですが、「日々ベストを尽くす、その積み重ねが、患者さんや近隣の医療機関の信頼を得ることに繋がる」との思いで、職員一同頑張っております。

病院で働く者として、職員一人一人が安全管理には細心の注意を払って行動しておりますが、さらに安全性を高めるために、間違いを未然に防ぐことが出来るシステムをより一層充実させるよう務めて参ります。いまの世の中では、「医療費」がかかることは罪悪の様に言われておりますが、医療の質、安全を保つためには費用がかかることを是非ご理解戴きたいと思いません。

昨年4月に個人情報保護法が施行されました。病院としては患者さんの個人情報が漏れないように万全を期して参りますが、個人情報保護法は「個人の情報が漏れるのを防ぐ」のが目的ではなく、「個人が自分の情報



を管理する権利」を認めた法律と言えます。患者さんご自身の診療情報の開示、セカンドオピニオンを求めるための資料・情報提供も行ってまいりますので、必要な際は窓口までお申し出ください（資料によってはコピー代、フィルム代などの作成実費を戴く事があります）。

分院は都心を離れた閑静な場所にあり、敷地も広く、自然環境に恵まれたところにあります。皆様のご協力のおかげで「全館禁煙」の実施と屋外での喫煙区域の限定など、多くの点で療養環境の改善ができたと思います。また、皆様の療養の気分転換のお役に立てばとの思いから、納涼祭を一昨年から復活し、ボランティアの皆様のご協力により、年に2回のボランティアコンサートを開催させて戴いております。

職員一同、患者さんに対する思いやりの心を持って、安全管理・医療の質の保持に気を配り、より良い病院を目指して頑張っておりますが、どうぞ、お気づきの点がありましたら、何なりと担当窓口（医事課）にお申し出ください。皆様の声が病院をより良くするために必要です。今年も皆様のご指導とご支援をよろしくお願い申し上げます。

腰痛には手術が必要なものもあります

整形外科部長 立花 新太郎

はじめに

中高年に差し掛かると、男女を問わず、腰痛を訴える頻度が高くなってきます。「年のせいだから」で済ませられる腰痛もありますが、放置しておくとう肢の麻痺など、重大な結果を招くものもあります。痛みを感じたら、まず深刻な病気の可能性が無いかどうか、整形外科で鑑別診断を受けることが大切です。

中高年の腰痛で、整形外科を受診した方が 良いのは、どんな場合ですか？

腰痛だけでなく下肢が痛む坐骨神経痛を伴う場合、安静にしても痛い場合、徐々に悪化している場合は受診しましょう。

安静にしても痛い腰痛は、腫瘍や炎症の可能性があるので注意しましょう。中高年はがんの転移も問題になります。腰椎に転移しやすいのは、前立腺がん、乳がん。多発性骨髄腫という血液の病気も要注意です。また、糖尿病や免疫不全の状態の人は化膿性の脊椎炎を起こしやすいので注意が必要です。

腰椎の骨折は、青壮年では高所からの転落や交通事故などの大怪我で無いと起こりませんが、高齢者の骨折の多くは骨粗しょう症が原因です。骨粗しょう症というと中高年女性の病気という印象が強いのですが、胃の切除術を受けた人などはカルシウムが不足するため、男性でも骨粗しょう症のリスクが高くなります。また「原発性胆汁性肝硬変」という骨が脆くなる病気もあります。

このように、寝ていても痛い、どんどん悪くなるという場合は、まず整形外科できちんと診断を受けることが大切です。マッサージなどの手当ては、深刻な病気でない

立花 新太郎 S48年卒

<専門領域>
脊椎外科、股・膝関節外科
手・肘関節外科、足の外科
末梢神経外科

日本整形外科学会専門医
日本リハビリテーション医学会認定医



ことを確認してから行くべきです。

ぎっくり腰とは、どんな状態ですか？

急激に起こる腰痛の総称です。

典型的な病気は、皆さんよくご存知の腰椎椎間板ヘルニアで、初期症状の多くがぎっくり腰から始まります。そのほか、中高年女性で骨粗しょう症がある場合には、腰椎の圧迫骨折が最も多く、男性では屈んで物を取ろうとした時や体をひねった時などに、急に起こる腰椎の捻挫が多く見られます。ゴルフなどスポーツの後に起こる腰痛は、加齢によって機能が落ちているための症状です。

急性腰痛（ぎっくり腰）になった場合の対処法は？

最長2日間の安静です。

痛みが我慢できる程度に動いても構いません。統計的に、2日間以上安静にしても良くならないことが分かっています。コルセットを使ったり、鎮痛剤で痛みをコントロールして、なるべく早く通常の生活に戻ることが大切です。なお、ぎっくり腰のときにマッサージに行くのはやめましょう。まずは安静が第一です。2日間寝ても直らない場合は整形外科を受診しましょう。

腰椎椎間板ヘルニアとはどんな病気ですか？

腰椎の継ぎ目がだんだん変性（老化）してきて、痛む病気です。

変性が急速に進んだ時に椎間板が飛び出して神経を圧迫、痛みが生じるのです。徐々に進めば、あまり症状を出さずに椎間板がいつの間にかつぶれているということになり、これを変形性脊椎症といいます。

腰部脊柱管狭窄症の治療は、椎間板ヘルニアと同様、ブロック注射を行いますが、ヘルニアに比べると、手術が必要となる比率が高い病気です。

腰椎椎間板ヘルニアの治療法は？

ほとんどの場合、手術をしないで落ち着きます。

一度変性して飛び出したり盛り上がった椎間板は元には戻りません。治るとは言えませんが、消炎鎮痛剤（経口剤か坐薬）を使ってコルセットで保護すると、大体症状は軽快します。

それでも痛みが改善されない場合は入院し、硬膜外ブロック注射をして2週間ほど安静を保ちます。なおも痛みが強く社会復帰できそうに無い場合、患者さんと相談して手術を行う場合もあります。術後2週間をプラスすると1ヶ月ほどの入院になります。実際には手術に至るケースではヘルニア全体の中ではごく一部です。

手術が必要なのはどんな場合ですか？

マヒして足の力が抜けてきたり、急に排尿、排便コントロールがきかなくなった場合「腰部脊柱管狭窄症」「間欠性はこ」が発生した場合などです。

坐骨神経痛が現れる「腰部脊柱管狭窄症」は長年の間に足の神経の通り道が狭くなるもので、手術が必要です。「間欠性はこ」には血管性と神経性があり、前者は立ち止まって休むと痛みは治りますが、腰椎に問題があって生じる神経性のものは、立ち止まっただけではよくなり、しゃがんだり、座らないと楽になりません。

インフルエンザ

呼吸器センター 川畑 雅照

インフルエンザとは

インフルエンザは、インフルエンザウイルスの感染で起こる急性の熱性疾患で、毎年12月～2月頃に流行します。感染すると突然38度以上の発熱と悪寒、頭痛、倦怠感、関節や筋肉の痛みなどがあらわれ、数日間寝込むような状態になります。

その後、咳や痰、喉の痛みなどが出てきて、通常は1週間以内に回復します。インフルエンザは高熱と重症感が強いことが特徴で、インフルエンザウイルスによる肺炎や脳炎などを合併症として発症して、生命に危険が及ぶこともあります。

また、高齢者や慢性疾患のある方は、もとの疾患の悪化や細菌性肺炎の合併などにより、時に生命を脅かすこともある病気です。

インフルエンザは、かぜの代表で軽い病気という誤解がありますが、通常のかぜとは全く別の病気と考えなければなりません。

インフルエンザの予防とワクチン

インフルエンザは、うがいや手洗い、人ごみや冷気を避けるなどの方法では十分に予防はできません。最も確実に有効な予防法はインフルエンザワクチンです。インフルエンザワクチンは接種して約2週間で効果があらわれますが、約4ヶ月しか持続しません。

また、流行するウイルスの型が毎年変わることもあり、1年に1回接種しなければなりません。

インフルエンザワクチンの有効性と副作用

インフルエンザワクチンは、約70%でインフルエンザの発症予防に有効で、もし予防できなくても症状が軽くてすみます。

高齢者では、肺炎などの合併症も予防し、死亡率や入院期間も減少させます。但し、インフルエンザワクチンはインフルエンザのみに有効で、他のかぜのウイルスには無効です。このため、ワクチンを接種したのに、かぜをひくことはあります。

インフルエンザワクチンの副作用として、接種部分が赤くなったり腫れたり痛んだりする他、微熱や倦怠感などを自覚することもあります。

しかし、ほとんどは軽いもので数日のうちに消失します。重篤な神経系の副作用は極めて稀です。ワクチンは鶏卵から製造されるため、鶏卵アレルギーのある人はアナフィラキシーを起こす可能性があります。そのため接種できません。

高齢者や慢性疾患のある方では、副作用によるデメリットよりも、効果によるメリットの方が大きいと、広く接種が勧められています。

インフルエンザの診断と治療

もし、インフルエンザにかかったかな、と思ったら、すぐに医師の診察を受けてください。インフルエンザかどうかは、鼻汁を採取してすぐに調べることができます。もし、インフルエンザと診断されれば、抗ウイルス薬（商品名：タミフル）が有効で、症状の持続期間を短くすることができます。

新型インフルエンザ

最近流行が懸念されている新型インフルエンザは、高病原性鳥インフルエンザとも言われ、水鳥が起源とされるタイプです。今のところ、高病原性鳥インフルエンザは、鳥型のウイルスで、人には感染しにくいと言われています。しかし、鳥型と人型のインフルエンザに感染する豚などの家畜類に、両方のウイルスが同時に感染すると、2つタイプが混ざり合っただけで人にも感染しやすいウイルスへ変異する可能性があります。このような変異によって、感染力が強くなり重症化しやすい新型インフルエンザウイルスが出現すれば、人間社会の中で爆発的な感染が懸念されます。

新型インフルエンザには現在のワクチンは効果が期待できず、抗ウイルス薬のタミフルが有効と考えられますが、大流行の場合の不足も心配されています。新型インフルエンザに対するワクチンの開発、十分量の抗ウイルス薬の備え、診療ガイドラインの整備、相談窓口の設置など国家規模の対策が急がれます。個人的な対応としては、通常のかぜと同様に規則正しい生活やうがいの励行、マスクの使用などで予防すると同時に、インフルエンザにかかったかなと思ったら早期に医師の診察を受けることが重要です。

アメリカ人は菓子パンが好き

元精神科部長 栗原 雅直

妻の姪はドイツ系のアメリカ人と結婚したが、その夫は仕事の関係で、日米間をよく往復している。日本に来ると、姪の実家に宿を取って、冷えた畳の上に大の字になり、太平楽、すなわち日本的安楽を満喫している。アメリカではアメリカのよさ、日本では日本のよさを味わうことが、結界を移動する人間にとってのコツらしいのである。

日本に来ると、彼がまず食べたがるのは、菓子パンだそうである。アメリカではこんなパンはないそうである。不味いパサパサのパンを、ダイエットコーラで流しこむのがせいぜいだそうである。

別な話では、アメリカ人は授業中に平気でコーラやパン類を教室に持ち込み、講義を聞きながら飲んだり食べたりするそうである。全員がそうなってしまえば、それを咎める教師もないわけだ。ひょっとすると、教師もコーラを飲みながら授業しているのかも知れない。

意外や意外、日本のパンはいつの間にか世界最高の水準になってしまったのである。敗戦国に小麦粉を輸出するため、戦後われわれは給食にもパンを食べさせられ、条件付けられてしまった。だが、五十年もたってみると、われわれの食に関する繊細な神経は、日本のパンやパスタを、最高の国際的水準にまで押し上げてしまった。それにはおそらくわれわれが稼いだ外貨の量が関係している。すなわち最上級の粉が日本に入ってきたことが最大の要因であろう。ちなみに小麦粉の輸出国カナダでは、十何等級も粉に等級があるそう。お金のあり具合によって輸出先が変わってくるそうである。

とするとアメリカの庶民の食生活は、意外に乏しいということになる。アメリカに留学していた私の娘によると、当地のスーパーには、碌な物しか売ってなかったそうである。肉だったらスライスではなくて塊のみ、パンだって最近の日本の専門店での豊富な品揃えなどおよそ比較にもならないという。

パンとサーカスがローマ時代に、民心を捉えるための政治家の施策として最上のものだったそうだが、パンはパサパサでも、イラク戦争のミサイル映像をテレビで見物しながら、「玉屋、鍵屋」とサダム・フセインの膺懲を楽しんでいるのだとしたら、パンとサーカスで十分満足したわけである。もっともわれわれ自身も、小泉劇場でライオンならぬ刺客に守旧派の議員たちが追い詰められるテレビ画面がなによりの娯楽だったことも事実で、何おか言わんやであったけれど。



虎の門病院からのご案内

初診時より効果的な診察ができますよう、可能でしたら他病院からの紹介状をご持参ください。紹介状をお持ちにならない場合は初診時特定療養費(本院5,250円、分院3,150円)をお支払いいただきます。

本院診療受付時間(初診)

内科	8:30 - 10:30
小児科	8:30 - 11:00
皮膚科	8:30 - 10:30
麻酔科	13:00-14:30(水以外)
外科	8:30-11:00
脳外科	月曜～金曜 8:30-11:00 月曜 13:00-14:30
整形外科	8:30 - 10:30
形成外科	月・火・木・金 8:30-10:30
産婦人科	8:30 - 11:00
泌尿器科	8:30 - 10:30 12:30 - 14:00 (金)はのぞく
耳鼻咽喉科	8:30 - 10:30
眼科	8:30 - 10:30
歯科	8:30 - 10:30

分院診療受付時間(初診)

	AM 8:30-10:30	PM 1:00-3:30
内科総合診療科	○	水
一般内科	月・火・水・金	火・水・木・金
呼吸器科	×	金(第2・4)
消化器科(肝臓)	週による	週による
神経内科	水	月
腎センター(内科)	月・火・水・木	月(第1×)・火
腎センター(外科)	火・金	×
精神科	×	○
循環器センター	×	水(第1・2・3)
外科	火・水・木	火・金
整形外科	○	×
皮膚科	×	火(第2・4)
小児科	×	月・水・金
泌尿器科	×	月
歯科	○	○

虎の門病院 本院

〒105-8470 東京都港区虎ノ門2-2-2
TEL 03-3588-1111 (代)

地下鉄銀座線虎ノ門駅3番出口 徒歩5分
車でご来院の方：有料駐車場があります
(30分：300円 患者さん割引あり)

虎の門病院 分院

〒213-8587 川崎市高津区梶ヶ谷1-3-1
TEL 044-877-5111 (代)

田園都市線梶ヶ谷駅より徒歩15分
宮崎台駅よりバス5分

さいたま診療所

〒330-0081 さいたま市中央区新都心2番1
さいたま新都心合同庁舎2号館1階
TEL 048-601-1347

JRさいたま新都心駅 徒歩5分

JR埼京線 北与野駅 徒歩8分

(診療科) 内科・精神科・歯科

平日AM 9:00~11:30 PM 1:30~4:00

予告なく変更することがありますので、診療前に電話等で各科の診療の有無を確認の上、ご来院ください。

人間ドック・脳ドックに関するお問い合わせ

虎の門病院 健康管理センター

直通) 03-3560-7777

平日8:30 から 16:00まで

当院でセカンドオピニオンの提供を受けたい方へ

他の病院におかかりの患者さんで、ご自分の病状や治療方針について現在おかかりの医師以外の意見をお求めの方へ対し、当院各科専門医(部長・医長クラス)による特別相談をお受けしております。

(料金) 30分：10,500円 60分：21,000円

診療情報サービス室 (直通) 03-3560-7823